カトリック幟町教会報
平和の鐘
2019年
2月
No.495

幟町教会赴任 10 ヵ月

アンドレア 荻 喜代治 神父

幟町教会に赴任して 10 ヵ月が過ぎようとしています。

大きな教会で、今でもまだ全員の顔も名前も覚えることができなく、色々と失礼しています。早く皆さんの顔や名前を覚え、幟町教会の真の家族的仲間入りをしたいと思っています。

そうは言いながらも様々な活動、場所に顔を出して少しずつ教会の様子が分かってきたような気がしています。教会の中には、様々な活動があります。ただ、一部の人が多くの役目を引き受けて、パンクしそうな状態で動いているような気もします。小さな手助けでいいのですので、皆さんの力を、お借りできたら、もっと楽しく、温かい、いきいきとした教会へと発展していくことと思います。

現代社会は、少子高齢化の時代といわれています。教会も、例外ではありません。そうはいうものの、クリスマス 24 日の 18 時、20 時、25 日 0 時、10 時、19 時ミサにはたくさんの大人、子どもたちが集まりました。子ども、青年もいないわけではありません。いろんな企画をしながら、大人も青年も子どもも楽しく集える教会を今年も作り上げていきたいと思います。

今年 11 月の後半に、フランシスコ教皇が広島にも来られる計画があります。ヨハネ・パウロ二世来広の時には、市内と周辺の教会のほとんどの信徒が準備、本番を支えて来ました。今回も皆さん全員の助けがないと実現することができません。皆さんの周りの、今は少し教会から足が遠のいている人たちにも、お互いに声をかけてください。「あなたの助けがないと、フランシスコ教皇様は、広島に来ることができません。フランシスコ教皇様に出会い、信仰の力、喜びをもらいましょう」と。

1981 年 2 月 25 日の教皇来広の様子

サントニーニョ

幼きイエス・キリストの集い

Santo Niño

1月20日に行われた今年のサントニーニョは、昨年以上に国際的でした。Santo（聖なる） Niño（子供）幼きイエス像を持ち寄り、お祝いしました。

ミサでは、サントニーニョの解説もあり、日本語だけでなく、英語、タガログ語、ベトナム語、韓国語での聖歌、祈りが奉げられNiño（子供）にちなみ、子供たちの祝福も行われました。

ミサ後、カトリック会館にての持ち寄りパーティでは、各国の手料理が振る舞われ、演奏、フィリピンの舞踏など、賑やか、華やかな時間を過ごしました。

参考：Santo Niño（幼きイエス・キリスト）の祭りの歴史
大航海時代にマゼランがセブに到達したとき、島の王に同盟を記念して渡したものがキリストの幼少の像「サント・ニーニョ」です。約 300 年にわたるスペインの植民地支配の名残でもあると共に、永きに渡りフィリピンの人々のカトリック信仰の中心とも言えるお祭りでもあります。

幟町教会の昔話を聞こう！

聖堂案内グループ

11 月 16 日に、マリアホールにてＪM様、ＫＫ様をお迎えして世界平和記念聖堂の建設当時を語っていただきました。

戦後のまだまだ混乱している中での寄付集めのご苦労、幟の信者さんとエリザベトの学生さん達が一緒に江田島に行き、その日のミサ献金とご馳走を頂いて喜んだ思い出。献堂式のにぎやかな様子、クリスマスミサ後に塔に昇り広島市内を一望した時の感慨深い思い。祈りのシスターのことを、ねずみのシスターとあだ名をつけてひそかに呼んでみたり…と知らないことや初めて聞くお話が沢山ありました。

炊き込みご飯のお昼をはさんで、荻神父様、バート神父様、シスター小野島をはじめとして 30 名が参加。聴きに来られた方々もそれぞれ当時の思い出や出来事を次々に話され、あっという間に時間が経ちました。

戦後の広島市内どこからも鳳凰が見え、そびえたつ希望のシンボルとして、祈りと平和を伝えてきた世界平和記念聖堂。ラサール神父様を中心に、多くの方々の熱意と行動にあらためて敬意を表し、心より感謝致します。

街頭募金活動

今年も路上生活者の支援等のための街頭募金を行いました。神父様や教会学校の子供達を含めて40人が、道行く人に募金を呼びかけ、144,521 円が集まりました。この募金は、路上生活者の昼食会、入浴、夜回り、健康相談等や自立するための支援活動に役立てられます。

皆様の温かい心に感謝します。

聖堂訪問記から

聖堂を訪れた方々の声の中から一部を紹介します。

この世の平和がまた脅かされています。どうかこの聖堂建設の時の世界中の人々が平和を願った思いをもう一度思い起こすことができますように

京都から参りました。世界平和を心から祈っております。今年、最愛の父が天に召されました。父との思い出が残る教会です。いつも癒されます。ありがとうございました。

今回で４回目の参拝です。何回来ても感動的です。村野建築のスタートであり、全てのエッセンスが詰まった建物だといつも思います。ヨーロッパのカテドラルとは全く異なるものです。これはこれで良いと思います。

初めてまいりました。「平和がどれほど大切なことかを、この聖堂の雰囲気からひしひしと伝わってきました。

病気が治って、やっと健康のありがたみが分かりました。おせちやお餅が食べられ、幸せ。

看取りと言われた母が奇跡的に回復に向かっています。信じること、祈ること、それしかできませんでしたが、本当に救われました。ありがとうございました。

ウェルカム ニュー ファミリー

新しく幟町の家族になった赤ちゃんです。
　よろしくお願いします。
1/6　聖アンナＹＫ

編集後記

『教皇来広』1981 年に、ヨハネ・パウロ二世が来広されて、40 年近くになる。広島市長の呼びかけに応え、今年後半にフランシスコ新教皇が来広される兆しが見えてきた。
「世界平和を希求する」この記念聖堂にも来てくださることを期待しています。（の）

カトリック幟町教会

〒730-0016　広島市中区幟町 4 番 42 号
電話　082-221-0621
ファクス　082-221-8486
ホームページ　http://noboricho.catholic.hiroshima.jp

ミサの時間

日曜日　7:30、9:30、14:30～（英語）
第 1 日曜日　16:00（ポルトガル語）
第 3 日曜日　11:00（ベトナム語）
月の最後の日曜日　17:00（スペイン語）
平日　7:00　　金曜日　7:00、10:00
土曜日 7:00、18:00（主日）

主任司祭　荻 喜代治 神父
助任司祭　服部大介 神父（教区司祭）　バート神父（淳心会）
協力司祭　ベッラ・アルベルト 神父（ミラノ外国宣教会）
シスター　小野島照子（援助修道会）